

「令和7年度病害虫発生予報第4号」の発表について

○今後の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、斑点米カメムシ類の発生が、北海道、南東北、南関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びコナガの発生が、複数の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、なしのシンクイムシ類の発生が、北関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類及び果樹カメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があります。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、害虫の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう1か月の予報（7月3日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、東日本日本海側及び西日本日本海側で少ない、北日本、東日本太平洋側及び西日本太平洋側で平年並か少ない、沖縄・奄美で平年並か多いと予想されています。

今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、カメムシ類やチョウ目などの害虫が例年以上に発生したり、発生時期が長期化することにより、農作物への被害が増えるおそれがあります。害虫の発生状況を注視し、適期の防除を実施してください。

気象庁ホームページ

参照URL: [気象庁 Japan Meteorological Agency](https://www.jma.go.jp/jma/index.html)（外部リンク）

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稲	いもち病		甲信、近畿、四国、北九州
	縞葉枯病		南関東、東海、近畿
	斑点米カメムシ類	北海道、南東北、南関東、北陸、東海、中国	北東北、近畿、四国、九州
	紋枯病		東北、北関東、東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北海道、南東北、南関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、山形県、埼玉県、富山県、石川県及び山口県から注意報が発表されています。本虫は、多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、出穂期、水田への本虫の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

また、水田周辺雑草の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。また、地域一斉で除草すると効果的です。

特に、**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、令和6年度は37都府県で確認され、イネカメムシによる減収被害が生じた地域も報告されています。イネカメムシによる不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシと異なり、出穂期に防除することが重要です。過去から発生量が多く被害が懸念される地域や発生量が増加傾向の地域では、不稔を防止するため、出穂期の防除を実施してください。

また、イネカメムシは、稲を好んで加害することから、防除が行われていない水田（飼料用米等）、周囲より出穂が早い品種又は遅い品種の水田は、集中加害を受ける場合があることから、これらの水田はよく水田内を観察し、発生に注意してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	うどんこ病	南九州	中国
	ハダニ類	南九州	北関東、甲信、四国、北九州
	炭疽病		東海、四国、北九州
きゅうり	アザミウマ類		南関東、甲信、四国
	アブラムシ類		南東北、甲信、四国
	コナジラミ類	南関東	甲信
	炭疽病	北東北	中国
すいか	アブラムシ類	南関東	甲信
たまねぎ	アザミウマ類	北海道	甲信
トマト	アザミウマ類	北東北	甲信
	コナジラミ類	北関東	南東北、南関東、甲信
ねぎ	アザミウマ類	北東北、近畿	関東、甲信、北陸、四国
	ネギハモグリバエ	北東北	四国、北九州
アブラナ科 共通	コナガ	北海道、北東北、北陸	甲信、中国
きく	アザミウマ類	近畿	南東北、甲信、四国
	アブラムシ類	南東北	北東北、甲信、四国
	ハダニ類	東海	東北、甲信、中国、四国、南九州
作物共通	オオタバコガ	北海道、東海、四国	南関東、甲信、南九州
	シロイチモジヨトウ	南東北、北陸、四国	

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

・**アザミウマ類**の発生が、北東北及び近畿の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県から注意報が発表されています。ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、発生初期から防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

アブラナ科共通

・**コナガ**の発生が、北海道、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。生育が進んだ幼虫では、殺虫剤の効果が劣ることから、ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、発生初期に防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

■ 作物共通

・オオタバコガの発生が、北海道、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、北海道及び愛知県から注意報が発表されています。また、シロイチモジヨトウの発生が、南東北、北陸及び四国の一部の地域で多くなることが予想されており、宮城県、富山県及び徳島県から注意報が発表されています。ほ場を見回り発生状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報等を参考に、適期に防除に実施してください。また、結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前に防除を実施してください。なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	アザミウマ類	北九州	東海
	かいよう病	東海	九州
	ハダニ類	四国	近畿、九州
なし	シンクイムシ類	北関東、北九州	北東北、南関東、北陸、東海、中国
	ハダニ類	北九州	北陸、近畿、四国
ぶどう	アザミウマ類	近畿、北九州	北東北
もも	シンクイムシ類	東海	近畿
果樹共通	果樹カメムシ類	東北、南関東、東海	甲信、北陸
茶	カイガラムシ類	北九州	近畿、南九州
	チャノホソガ	南九州	近畿、北九州
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	南九州	南関東、東海、近畿
	ハマキムシ類	近畿、九州	南関東、東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

なし

・**シンクイムシ類**の発生が、北関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。シンクイムシ類の被害果が認められた場合は、速やかに切除し、果樹園外に持ち出し、処分して下さい。また、交信かく乱剤の地域全体での利用も効果的です。

果樹共通

・**果樹カメムシ類**の発生が、東北、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県、秋田県及び宮城県から注意報が発表されています。果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシについては、例年7月以降に山林のスギ、ヒノキ等の球果を中心に吸汁し、果樹園地での被害が少なくなるところですが、当年第1世代の成虫が発生した後、餌となる球果が不足すると果樹園地に飛来し、加害することが知られています。また、近年は、夏季の高温により、当年第2世代が発生する地域も多いです。今後も園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。果樹カメムシ類は、薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方に薬剤散布を行うと効果的です。スギ林やヒノキ林の隣接園地では、被害が多くなる傾向があることから、特に飛来状況に留意しましょう。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和7年6月11日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
6月12日	岩手県	リンゴ	果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ)
6月19日	徳島県	サツマイモ	シロイチモジヨトウ
6月20日	北海道	野菜・花き類	オオタバコガ
6月24日	秋田県	りんご、なし、もも、おうとう、うめ	果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)
6月27日	北海道	トウモロコシ	アワノメイガ
6月27日	岩手県	ネギ	ネギハモグリバエ
6月27日	岩手県	ネギ	ネギアザミウマ
7月1日	大分県	ピーマン	ヒラズハナアザミウマ
7月1日	富山県	ネギ、その他野菜・花き類	シロイチモジヨトウ
7月1日	北海道	てんさい	褐斑病
7月2日	宮城県	果樹(りんご、なし等)	果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
7月2日	宮城県	ネギ	シロイチモジヨトウ
7月2日	新潟県	西洋ナシ	セイヨウナシ褐色斑点病
7月2日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
7月2日	富山県	水稻	斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ等)
7月2日	愛知県	花き類、野菜類、ダイズ	オオタバコガ
7月2日	沖縄県	オクラ	フタテンミドリヒメヨコバイ
7月3日	石川県	水稻	斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)
7月3日	埼玉県	水稻	斑点米カメムシ類 (イネカメムシ等)
7月4日	大分県	トマト、ミニトマト	トマトキバガ
7月7日	山口県	水稻	斑点米カメムシ類 (アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ等)

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
6月12日	愛知県	水稻	ナガエツルノゲイトウ
6月17日	長崎県	ミニトマト	トマト立枯病
6月26日	三重県	ウメ	クビアカツヤカミキリ
6月26日	茨城県	メロン	<i>Cucurbit aphid-borne yellows virus</i>
7月2日	愛知県	ブロッコリー	<i>Alternaria japonica</i> Yoshii によるブロッコリーの黒すす症状

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法により、重要病害虫発生時の通報が規定されています。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生

産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL:<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第5号：令和7年7月23日(水曜日)

第6号：令和7年8月6日(水曜日)

第7号：令和7年9月10日(水曜日)

第8号：令和7年10月8日(水曜日)

第9号：令和7年11月12日(水曜日)

第10号：令和8年3月11日(水曜日)

(参考) これまでの発表

第1号：令和7年4月16日(水曜日)

第2号：令和7年5月14日(水曜日)

第3号：令和7年6月11日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、古澤

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382